



ジュニアシート

ジュニアプラス ネクスト Junior Plus NEXT

取扱説明書／保証書

〈お願い〉

〈重要〉ご使用前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万が一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

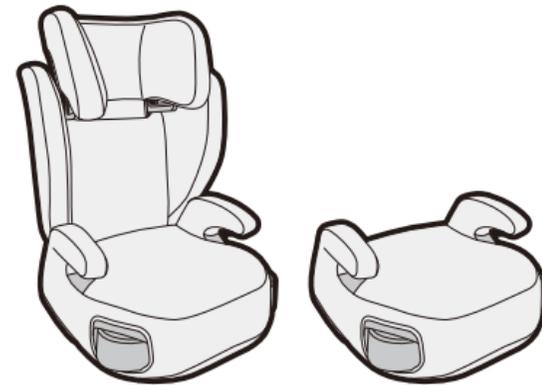
本製品は、**身長100cmから150cmまで**のお子さま用です。
(各モードでの使用範囲は下表をご覧ください。)

UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

このたびは、グレコ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

UN ECE-R129/03適合 **アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置**
汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置

取り付け方法	お子さまの条件
ブースターシートモード	身長：100cm～150cm
ブースタークッションモード	身長：135cm～150cm



ご使用前に

ブースターシートモード

ブースタークッションモード

お手入れ・その他

保証書

ご使用前に

ジュニアシートについて 2

保護者の方へのアドバイス 2

本書の表示について 2

各部のなまえ 3

お子さまの条件 7

座席の条件 9

シートベルトの条件 13

ご使用上の注意 15

組み立てかた 19

カップホルダーの使いかた 21

取り付け準備 22

ブースターシートモード

車への取り付けかた 23

お子さまの乗せかた 25

使用時の確認 27

ブースタークッションモード

背もたれの取り外しかた 28

車への取り付けかた 29

お子さまの乗せかた 30

使用時の確認 31

お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた 32

お手入れ／保管・廃棄のしかた 34

困ったときに 35

保証について 36

アフターサービスについての連絡先 37

保証書

保証書 38

ジュニアシートについて

- ・ジュニアシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまにジュニアシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
- ・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。

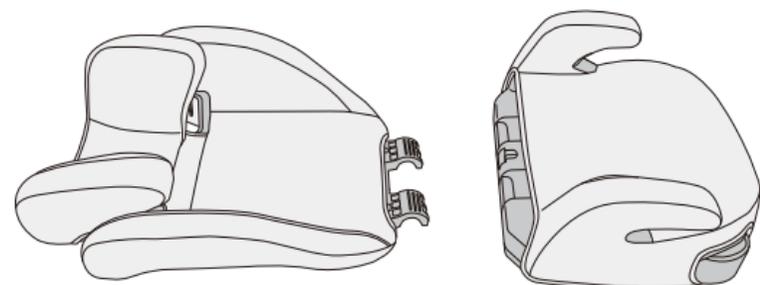
 製品の取り扱いにおける禁止行為です。

 **アドバイス** 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



背もたれ

座面

〈付属品〉



取扱説明書(本書)
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)

〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してジュニアシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

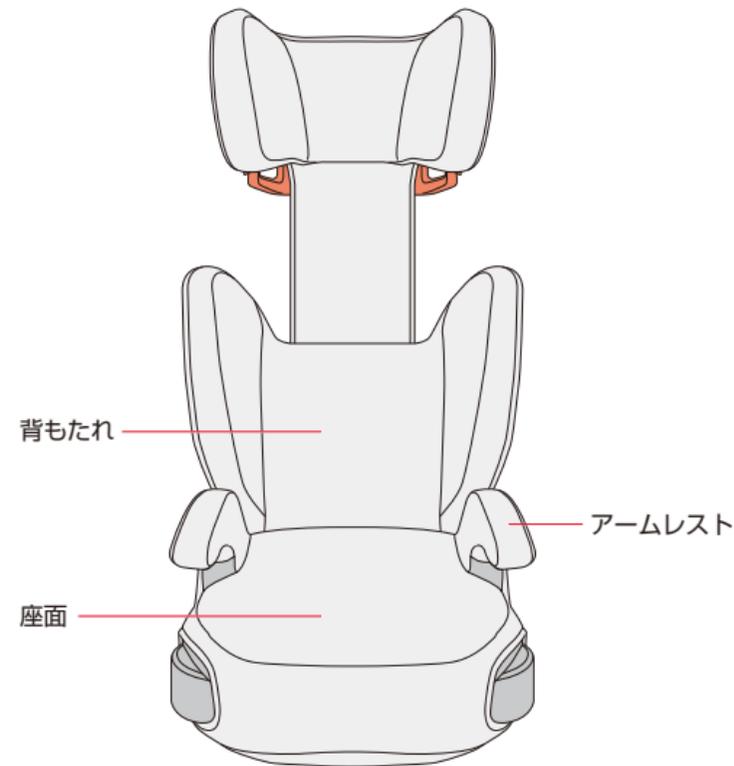
弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

お客様情報登録

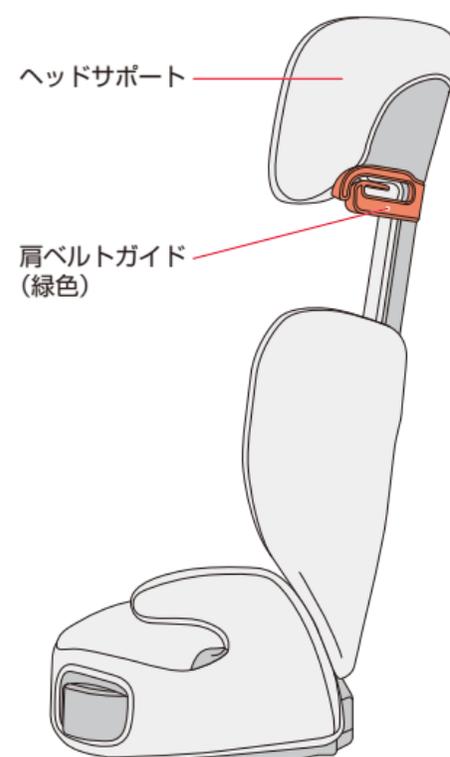


QRコード

〈本体正面〉

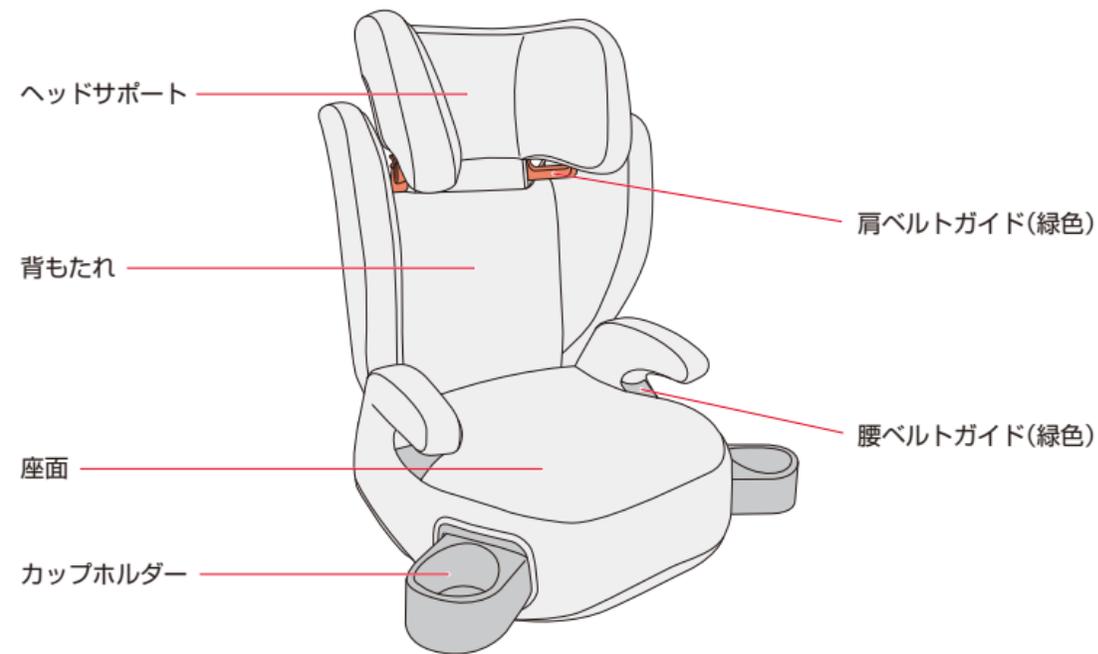


〈本体側面〉

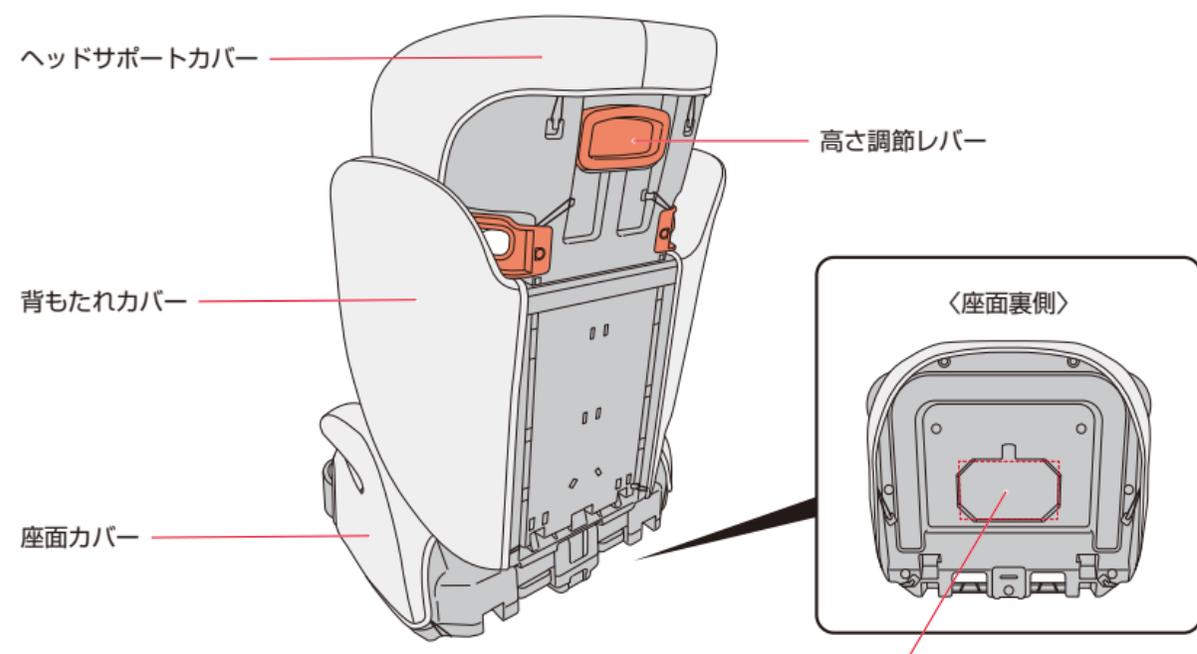


各部のなまえ

〈本体正面〉



〈本体背面〉



※本書(取扱説明書)は取扱説明書収納ポケットに常備してください。

お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・お子さまの身長に合わせてご使用ください。



・条件を満たしていないお子さまには使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

お子さまの身長にあわせて、2通りの使いかたがあります。

ブースターシートモード

身長100cm～150cm

- ・背もたれを使用
- ・車のシートベルトでお子さまを拘束
- ・車のシートベルトでジュニアシートを固定

※お子さまの安全性を高めるために、身長135cm以上の場合もブースターシートモードの使用をお奨めします。



ブースタークッションモード

身長135cm～150cm

- ・背もたれを取り外す
- ・車のシートベルトでお子さまを拘束
- ・車のシートベルトでジュニアシートを固定



・身長135cm未満のお子さまには使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**



座席の条件

本製品は次の条件を満たす座席に取り付けることができます。

●UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した座席。

ブースターシートモードでご使用の場合

本製品は、アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。

アイサイズ改良型幼児拘束装置については、車の取扱説明書をお読みください。

※アイサイズ適合座席、車の内部にぶつからないことを条件に車の取扱説明書に『汎用型チャイルドシートの取り付けが可能』と記載されている座席に概ね取り付けできます。

※身長が135cmを超えるお子さまにご使用の場合、本製品は認可された全ての車に取り付けられない場合があります。



ブースタークッションモードでご使用の場合

本製品は、汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置です。

※アイサイズ適合座席、車の取扱説明書に『汎用型チャイルドシートの取り付けが可能』と記載されている座席に概ね取り付けできます。

・取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。 車の取扱説明書にジュニアシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません。
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません。

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。

※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には取り付けできませんが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。



このマークのある座席には取り付けられません。



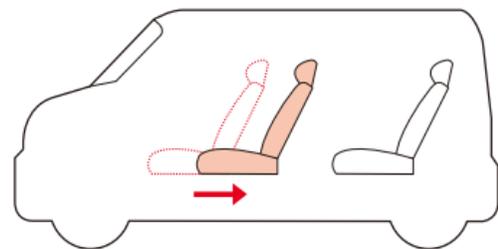
座席の条件

〈お奨めする取り付け座席〉

- ・お子さまの安全を最優先に考えジュニアシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。

〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

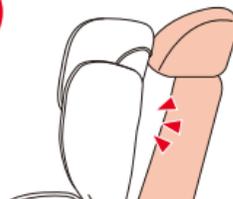
- ・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。



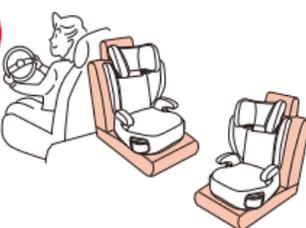
警告

- ・座席の背もたれの上部分をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈取り付けできない座席〉



- ・車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとジュニアシートが接触しない座席。



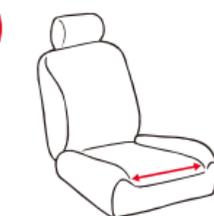
- ・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。



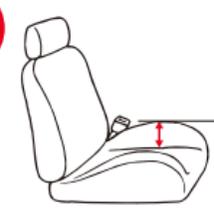
- ・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



- ・極端に奥行きが短い座席。
(補助席や幼児専用座席)



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



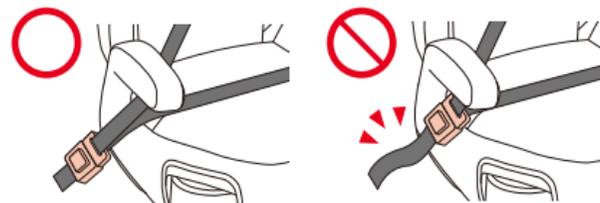
シートベルトの条件

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

〈シートベルトバックルの正しい位置〉

- ・シートベルトバックルの位置は、ジュニアシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・右図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P37参照)



〈取り付けできない座席〉

固定側

タイヤアーチ上部から取り出される

・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。

・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)

・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。

・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。

・2点式シートベルトの座席。

・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。

・パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)

・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。

ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・身長100cm未満及び150cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・ジュニアシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



・シートベルトのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・ジュニアシートを本書及び、本体表示の説明以外の方法で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまをジュニアシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはジュニアシートを取り付けない。
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・ジュニアシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
- ・お子さまの耳の上端部が本製品の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・ブースターシートモードで、お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・可動部に水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入り操作ができない場合は使用しない。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品のネジやナットを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・弊社指定アクセサリ以外のものを使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないジュニアシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外した背もたれはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
- ・背もたれのみで使用しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上からシートベルトを装着しない。
シートベルトのゆるみの原因となることがあります。
- ・寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。



注意

誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・ジュニアシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにジュニアシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・ジュニアシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまにジュニアシートの取り付け、取り外し、操作をさせない。
- ・ジュニアシートに重量物をのせない。
- ・本体や、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①車のシートベルトのバックルからタングを外す。
- ②お子さまをジュニアシートから降ろす。
- ③安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

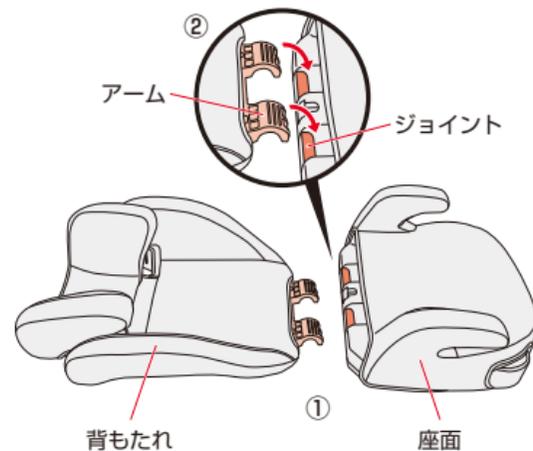
- 車のシートベルトをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



組み立てかた

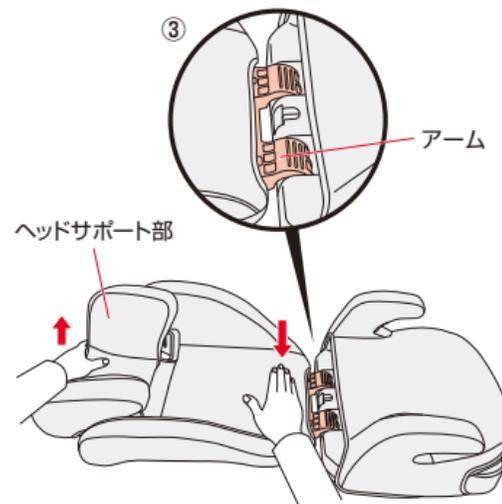
・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ① 背もたれと座面を並べる。
- ② シートカバーを挟み込まないようにアームを座面のジョイントに掛ける。



警告 組み立ては必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ③ ヘッドサポート部を少し持ち上げ、背もたれ下側中央部を押しアームをジョイントにはめ込む。

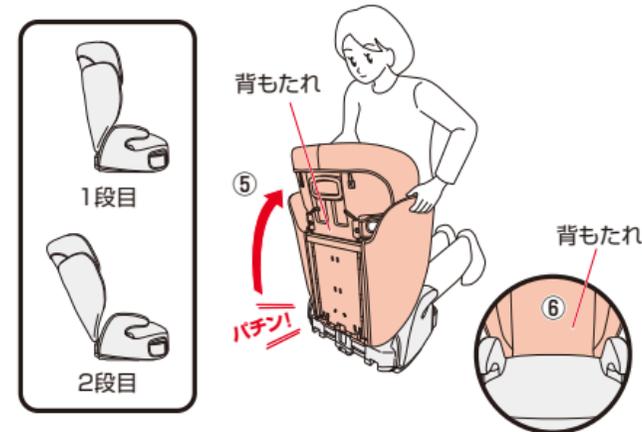


- ④ 座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。



警告 組み立てる時に、指などを挟まないよう注意する。
組み立てたジュニアシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意する。

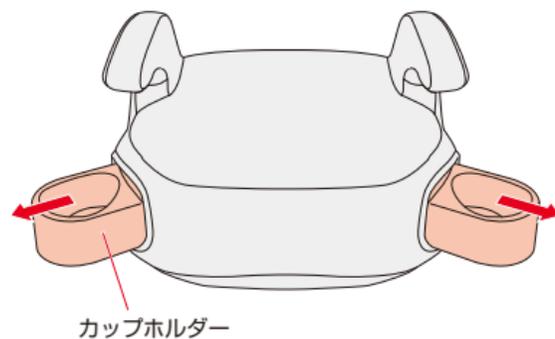
- ⑤ 背もたれを起こす。
※少し大きな音が出ますが、故障ではありません。
- ⑥ 背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。
※背もたれ角度は2段階に調節が可能です。(P23参照)



注意 背もたれ部分が斜めにならないよう注意してください。
シートカバーを運ぶ時は、挟み込まないように注意してください。

カップホルダーの使いかた

〈使用する場合〉



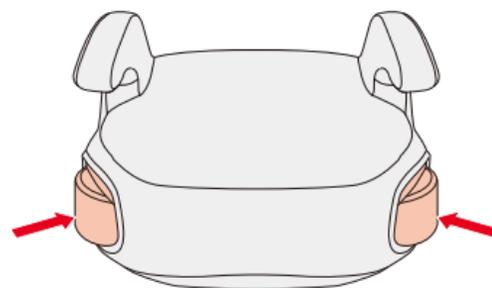
カップホルダー

- 最後までしっかり引き出す。
(簡易的に固定されます。)

警告

- ・カップホルダーに熱い飲み物などの容器を置かない。
やけどをするおそれがあります。
- ・お子さまを乗せた状態でカップホルダーを収納しない。
手や指などが挟まれけがをするおそれがあります。

〈使用しない場合〉



- 最後まで押し込み収納する。
(簡易的に固定されます。)

注意

- ・カップホルダーを使用する場合は、飲み物がこぼれ落ちないように注意してください。

取り付け準備

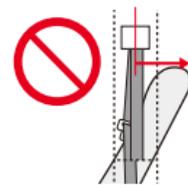
- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをおすすめいたします。
- 本書では、右後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP9～P14を参照してください。

危険

- ・ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

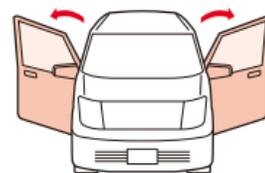
警告

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはジュニアシートを取り付けない。
- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

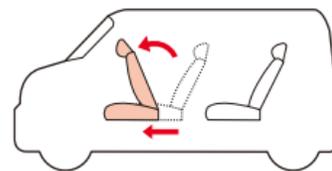


〈取り付け作業のスペース確保〉

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



アドバイス

- ・ジュニアシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「アプリカ製シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「アプリカ製シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。

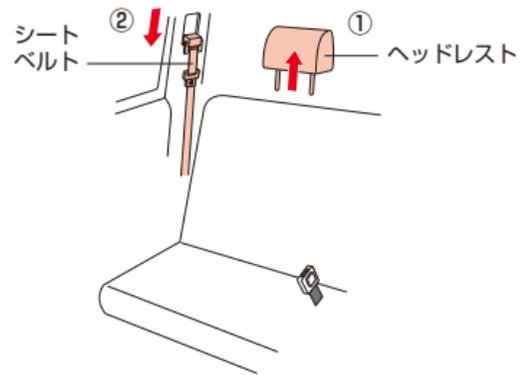


アプリカ製シート保護マット

ブースターシートモード／車への取り付けかた

〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの高さを下げる。

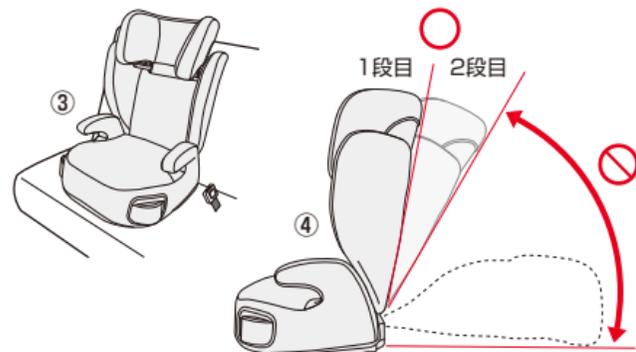


警告

- ・車のヘッドレストがジュニアシートに干渉した状態で取り付けない。ジュニアシートを確実に固定できないおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

〈背もたれ角度を調節する〉

- ③ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。
- ④ジュニアシートの背もたれ角度(2段階)を座席に合わせて調節する。
リクライニングが可能な座席の場合は、使用したいジュニアシートの背もたれ角度に合わせて座席のリクライニングを調節する。



警告

- ・ジュニアシートの背もたれ角度は1段階か2段階以外では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈シートベルトをとめる〉

- ⑤高さ調節レバーを引き上げ、ヘッドサポートを上げる。
- ⑥肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。
- ⑦腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。



- ⑧ジュニアシートの背もたれと、車の座席の背もたれのすき間がなくなるようにジュニアシートの位置を調節する。
- ⑨シートベルトがしっかり締まっていることを確認する。

警告

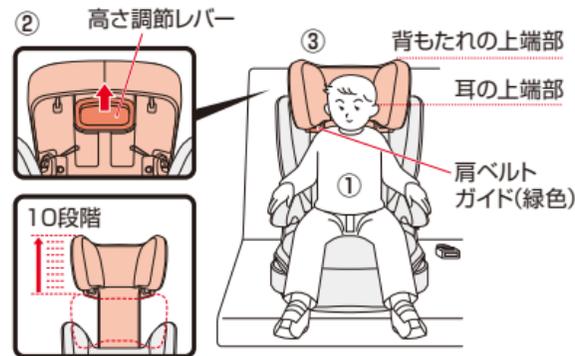
- ・お子さまが乗っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定する。急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
- ・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
- ・ジュニアシートの背もたれと車の座席の背もたれ、ジュニアシートの座面と車の座席の座面が離れた状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

ブースターシートモード／お子さまの乗せかた

〈お子さまを乗せ、ヘッドサポートの高さを調節する〉

ヘッドサポートの高さは10段階に調節することができます。

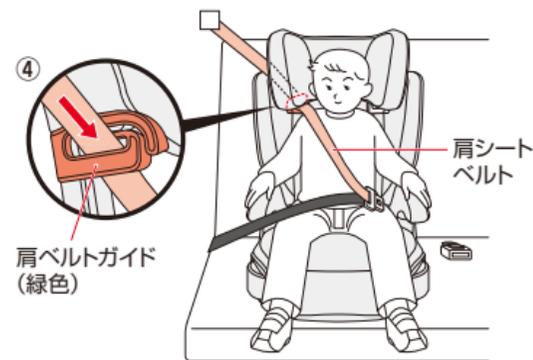
- ① お子さまを座面に深く座らせる。
- ② 高さ調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節する。
- ③ ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。



・お子さまの耳の上端部がジュニアシートの上端部より上に出る場合は使用しない。
 ・ヘッドサポート操作時は、お子さまの手や指などを近づけない。手や指などが挟まれけがをすることがあります。

〈肩シートベルトを通す〉

- ④ 肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。



肩より高い



肩より低い



・肩シートベルトにねじれやゆるみがないこと。
 ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈腰シートベルトをとめる〉

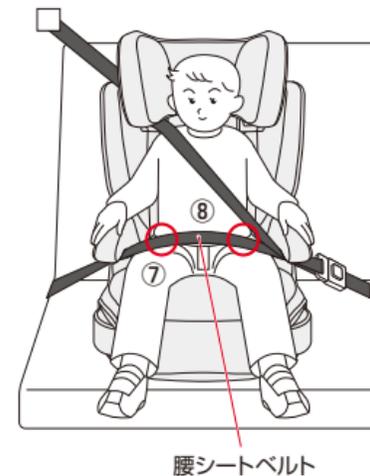
- ⑤ 腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
- ⑥ タングをバックルに差し込む。



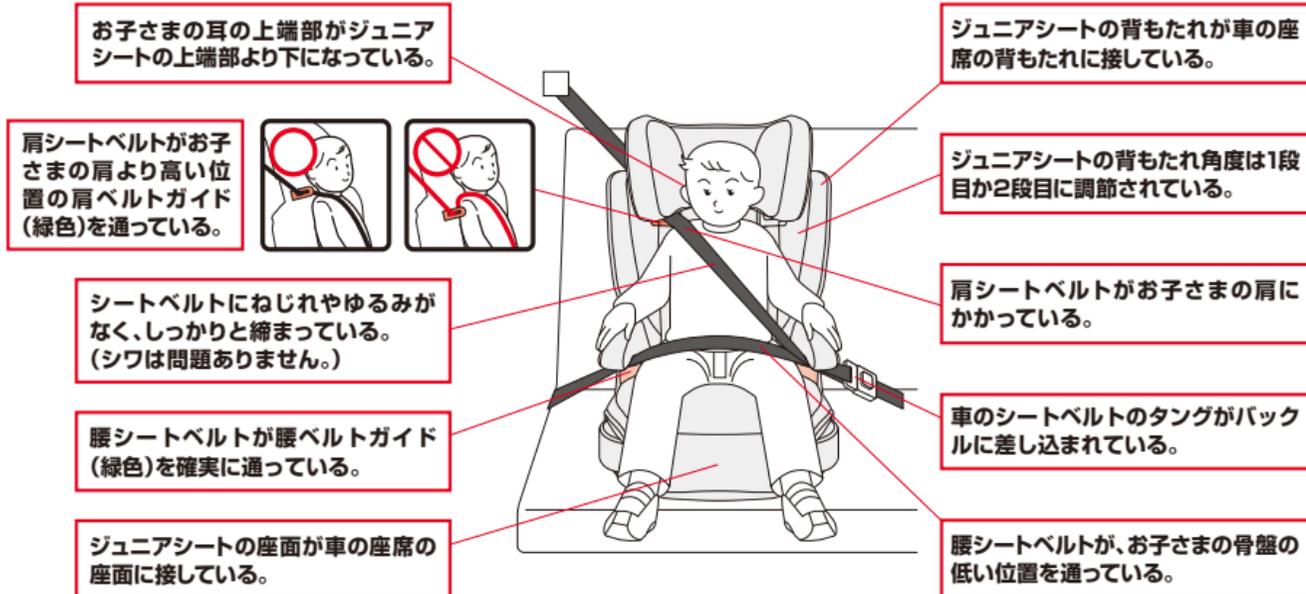
・腰シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。

〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑦ 腰シートベルトを低く下げ、お子さまの骨盤の低い位置を通るように調節する。
- ⑧ シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



・正しくできていない場合は、もう一度P23～P26の手順をやり直してください。



〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ① 高さ調節レバーを引き上げ、ヘッドサポートを下げる。
- ② 座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ③ 背もたれを倒す。
※少し大きな音がしますが、故障ではありません。
- ④ 背もたれの下部を持ち、左右のいずれかを引き上げ、背もたれを取り外す。



警告

・取り外す時に、指などを挟まないよう注意する。



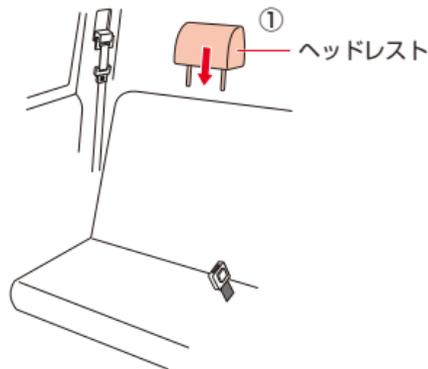
警告

・取り外した背もたれは座席などの乗車空間に放置しない。
衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

ブースタークッションモード／車への取り付けかた

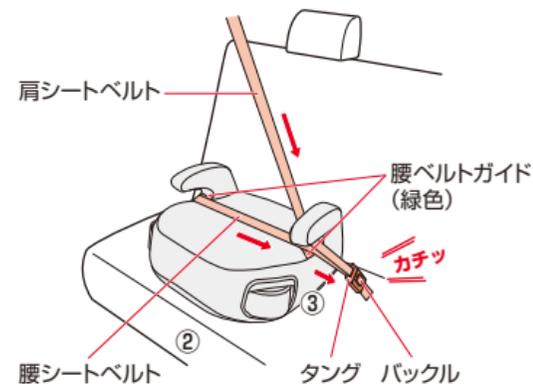
〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。



〈ジュニアシートをのせる〉

- ②ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。
- ③腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。
- ④シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・お子さまが乗っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定する。
急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。

ブースタークッションモード／お子さまの乗せかた

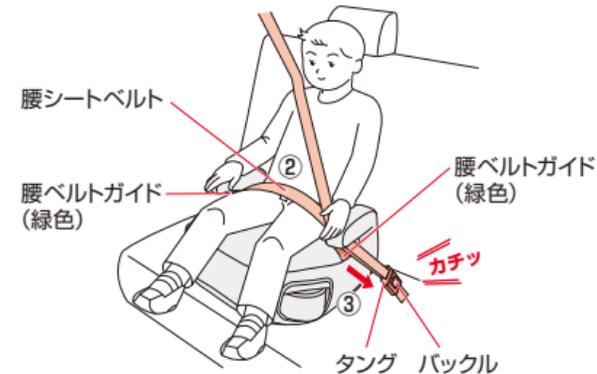
〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座面に深く座らせる。



〈腰シートベルトをとめる〉

- ②腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
- ③タングをバックルに差し込む。
- ④腰シートベルトを低く下げ、お子さまの骨盤の低い位置を通るように調節する。
- ⑤シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



・お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、またはヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



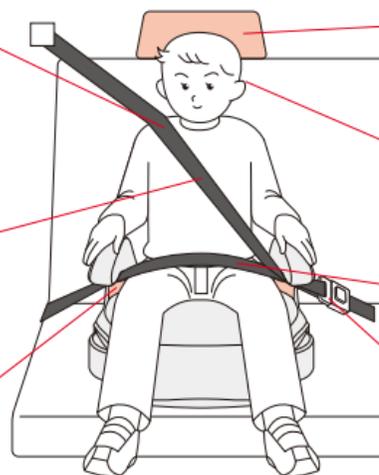
・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

・正しくできていない場合は、もう一度P29～P30の手順をやり直してください。

肩シートベルトがお子さまの肩にかかっている。

シートベルトにねじれやゆるみがなく、しっかりと締まっている。
(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが腰ベルトガイド(緑色)を確実に通っている。



車のヘッドレストを取り付けている。
(取り外せる場合)

お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より下になっている。

腰シートベルトが、お子さまの骨盤の低い位置を通過している。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれている。

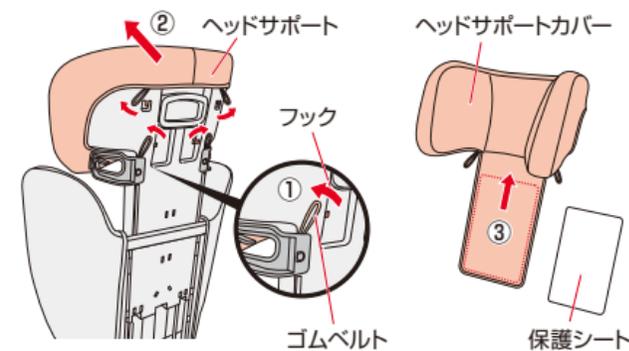
※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

〈準備〉

- ・背もたれを取り外す。(P28参照)
- ・ヘッドサポートを一番上まで上げる。(P25参照)

〈ヘッドサポートカバー〉

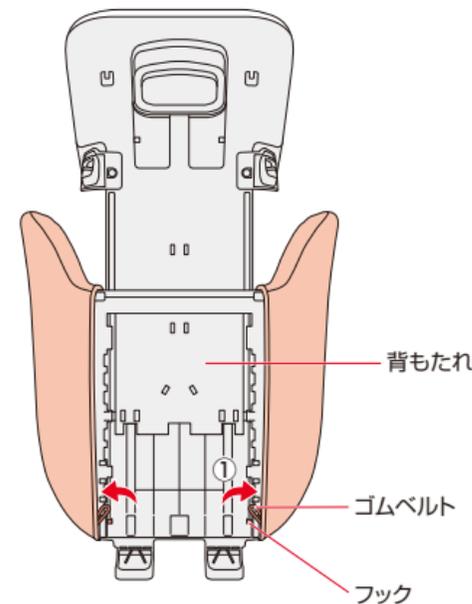
- ①ヘッドサポートのゴムベルトをフックから外す。(4カ所)
- ②ヘッドサポートカバーを取り外す。
- ③裏側ポケットの上部折り返し部分をめくり保護シートを抜き取る。



・シートカバー、保護シートを取り外した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

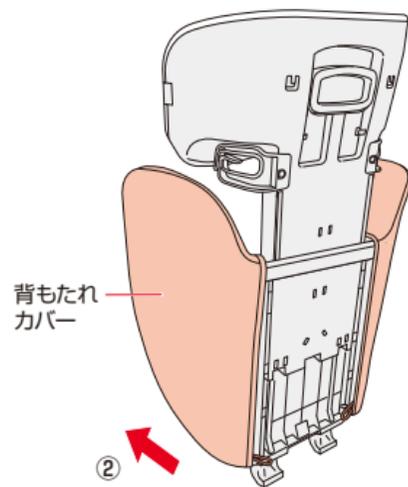
〈背もたれカバー〉

- ①背もたれ下部のゴムベルトをフックから外す。
(2カ所)



シートカバーの取り外しかた

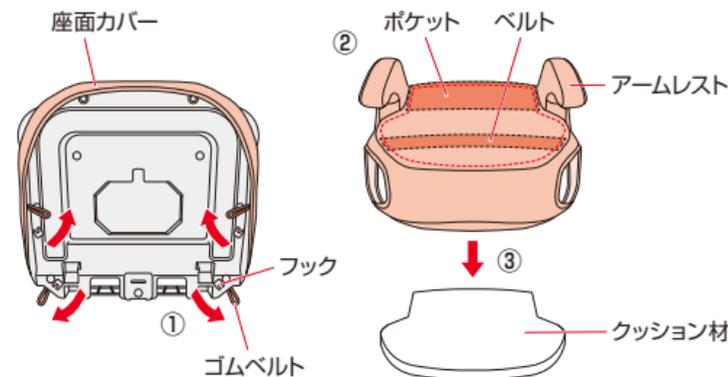
- ② 背もたれ下部から背もたれカバーをめくり、取り外す。



カバー取り付け時は、背もたれ上部からかぶせる(左右同時)と取り付けやすくなります。

〈座面カバー〉

- ① 座面裏側のゴムベルトをフックから外す。(4カ所)
- ② 座面カバーをめくり、取り外す。
- ③ 座面カバー内側のポケット、ベルトからクッション材を抜き、取り外す。



カバー取り付け時は、アームレストからかぶせると取り付けやすくなります。



クッション材を取り外した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

お手入れ／保管・廃棄のしかた

〈ヘッドサポートカバー、背もたれカバー、座面カバーの洗濯〉

※クッション材、保護シートを取り外してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止



他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分・クッションのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・可動部、レバー付近にゴミがつかまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・クッション材は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・クッション材は日陰で乾燥させてください。



本体やクッション材、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。
各レバーが元の位置に戻っていることを確認にしてください。故障の原因になります。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときに <解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。>

<ご使用前に困ったとき>

お気づきの点	対処方法
梱装箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P37「アフターサービスについての連絡先」参照
ジュニアシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	車の取扱説明書にアイサイズ適合、「汎用型チャイルドシートの取り付けが可能」と記載されている座席、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した座席に概ね取り付けできます。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P10「座席の条件」参照) 取り付けできない座席については、P12「座席の条件」、P14「シートベルトの条件」を参照ください。

<お子さまの乗せかたで困ったとき>

お気づきの点	対処方法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。 (P26「ブースターシートモード」、P30「ブースタークッションモード」参照)
	ジュニアシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。

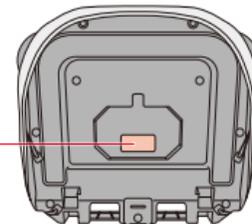
保証について

<保証期間とアフターサービス>

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます。
- ・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、座面裏面シールの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。

品名・品番・ロット番号シール



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

保証書

〈Effective only in Japan〉

保証規定

- (1) 製品の保証期間は、購入日より1年間です。
- (2) 保証期間中に不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は無償修理をいたします。
- (3) 保証期間中でも次のような場合には有償での修理あるいは交換などでの対応となり、また当該対応のために要する送料はご負担いただけます。また場合により、対応自体ができない場合もございますので予めご了承ください。
 - a. 本書の提示のない場合（製品に同梱されている取扱説明書にあります。）
 - b. 本書に購入日や販売店の記載がない場合、またはこれらの記載が書き換えられている場合
 - c. お客様の誤った使い方（取扱説明書やご使用上の注意において禁じている行為）やお手入れ不良、または改造や不当な修理による故障、損傷、破損など
 - d. メッキ部の錆、塗装部の剥がれ、キズ、歪み、縫製品・樹脂部の紫外線劣化、変色など、通常使用における自然劣化
 - e. 消耗品の消耗、故障、損傷など
 - f. 縫製品の色あせ、かび、擦り切れ、キズや破れ、その他の破損
 - g. 地震、水害、落雷などの自然災害や火災などの影響による故障、損傷、破損など
 - h. 部品の紛失および破損
- (4) 製品による二次的な損傷や損害などは本保証の対象外となります。
- (5) 一度ご使用になった製品の他の製品へのお取り替えは原則として行っておりません。
- (6) 事故や落下など強い衝撃を受けた製品は本保証の対象外となります。
- (7) 本保証は日本国内で購入し使用した場合のみ有効です。
- (8) 業務用、施設用など一般家庭以外で使用された場合は本保証の対象外です。
- (9) 本保証は本書に記載の販売店から購入日に購入したお客様（贈答品については当該お客様より贈答を受けた方）にのみ有効です。ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより第三者から購入したり譲渡を受けた使用経緯の確認できない製品につきましては本保証は適用されません。

品名	ジュニアプラス ネクスト Junior Plus NEXT	品番	
		ロット番号	
購入日	年 月 日		
保証期間	購入日より1年間		
お客様	ご住所 〒		
	お名前	TEL	
販売店	住所 〒		
	店名	TEL	

- 購入販売店名を確認し、品番、ロット番号、購入日をご記入ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本保証は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターに直接お問い合わせください。